

安保の違憲は明白

九条は戦力を放棄

審査権は有名無実

行政府が全てを支配

【東京14日電】最高裁は14日午後、安保問題の違憲判決を言い渡した。判決は、憲法第92条第1項に規定する国会の審査権が有名無実となり、行政府が安保問題の全てを支配しているとして、憲法に違反するとして、安保法の一部を無効とした。また、憲法第9条第2項に規定する戦力の放棄を認めた。判決は、憲法第92条第1項に規定する国会の審査権が有名無実となり、行政府が安保問題の全てを支配しているとして、憲法に違反するとして、安保法の一部を無効とした。また、憲法第9条第2項に規定する戦力の放棄を認めた。

その内容と問題点

毛利と一

最高裁の判決は、安保法の一部を無効とした。また、憲法第9条第2項に規定する戦力の放棄を認めた。判決は、憲法第92条第1項に規定する国会の審査権が有名無実となり、行政府が安保問題の全てを支配しているとして、憲法に違反するとして、安保法の一部を無効とした。また、憲法第9条第2項に規定する戦力の放棄を認めた。

自衛戦力が戦争の原因 力の均衡方式こそ危険

自衛戦力が戦争の原因、力の均衡方式こそ危険。これは、安保問題の背景にある重要な論点である。自衛戦力の増強は、国際的な力の均衡を崩壊させ、戦争の原因となる。また、力の均衡方式は、危険な状態を招き起こす可能性がある。

昨年一年間日本の政局は砂川裁判、安保改定問題を中心として大きく揺れ動いた。砂川事件については最高裁において原審判決が確定され、安保改定の調印は間もなく行われることとなり、情勢は一つの新しい局面を迎えようとしている。本誌はこれら問題について担当記者の座談会を開催し、その疑問点や今後の在り方などについて話し合ってきた。



- 出席者 (東京方面)
- 渡辺 五五知
 - 川名 国夫
 - 平山 忠夫
 - 徳田 良一
 - 神安 豊子
 - 大日野 宗吉
- 速記者 高橋 隆子

信用できぬ裁判所

偉大だった伊達判決

【東京14日電】最高裁は14日午後、安保問題の違憲判決を言い渡した。判決は、憲法第92条第1項に規定する国会の審査権が有名無実となり、行政府が安保問題の全てを支配しているとして、憲法に違反するとして、安保法の一部を無効とした。また、憲法第9条第2項に規定する戦力の放棄を認めた。

最高裁判決の教訓

裁判批判大いに結構

最高裁判決の教訓、裁判批判大いに結構。これは、市民の権利を守るための重要なステップである。裁判の透明性と公正性を確保し、市民の声を聴くことが、民主主義の発展に不可欠である。

一党独裁の現政局

全学連にも理解を

一党独裁の現政局、全学連にも理解を。これは、現在の政治状況に対する重要な分析である。一党独裁の体制は、民主主義の原則を損なっており、全学連などの学生組織にも理解を求める必要がある。

これからが大切

学生も国民とともに

これからが大切、学生も国民とともに。これは、学生と国民の連帯が、社会の発展と民主主義の確立に不可欠であることを示している。

青春に酔いたまえ! トリスワイスキー

サントリー 純粋品

徳用大瓶 330円
ポケット瓶 120円
デルクストリス500円 (グラス2杯)

安保条約と平和憲法

危険性増す改定案

明らかな軍事同盟へ

安保条約改定案の危険性は、明らかな軍事同盟の危険性を帯びており、憲法の平和原則を著しく侵害するものである。改定案は、日本が自衛隊を維持し、米軍と密接な軍事同盟を結ぶことを容認している。これは、日本が主権を喪失し、他国に保護される立場に陥る危険性を孕んでいる。改定案は、日本国民の生命財産を脅かすものである。我々国民は、改定案の危険性を認識し、断固として反対する立場を表明する。

砂川事件に対する最高裁判決は、政府側が有利となり、安保改定の調子も明かしく行われる危険となつて政府と、そして日本国民の間には、明らかな軍事同盟の危険性を帯びており、憲法の平和原則を著しく侵害するものである。改定案は、日本が自衛隊を維持し、米軍と密接な軍事同盟を結ぶことを容認している。これは、日本が主権を喪失し、他国に保護される立場に陥る危険性を孕んでいる。改定案は、日本国民の生命財産を脅かすものである。我々国民は、改定案の危険性を認識し、断固として反対する立場を表明する。



●写真は安保改定反対でもみ合う学生●

戦力の保持は違憲

自衛権とは別の問題

戦力の保持は、自衛権とは別の問題である。自衛権は、国家の生存を脅かす外部からの攻撃に対する防衛行為を指す。一方、戦力の保持は、国家が常備軍を維持することを指す。これは、国家の主権を侵害するものである。改定案は、戦力の保持を容認している。これは、憲法の平和原則を著しく侵害するものである。我々国民は、戦力の保持が違憲であると認識し、断固として反対する立場を表明する。

戦力の保持は、自衛権とは別の問題である。自衛権は、国家の生存を脅かす外部からの攻撃に対する防衛行為を指す。一方、戦力の保持は、国家が常備軍を維持することを指す。これは、国家の主権を侵害するものである。改定案は、戦力の保持を容認している。これは、憲法の平和原則を著しく侵害するものである。我々国民は、戦力の保持が違憲であると認識し、断固として反対する立場を表明する。

砂川判決と安保論争

砂川判決は、安保条約の効力を肯定した。これは、政府側の勝利である。しかし、これは、憲法の平和原則を著しく侵害するものである。我々国民は、砂川判決を批判し、安保条約の改定を断固として反対する立場を表明する。

砂川判決は、安保条約の効力を肯定した。これは、政府側の勝利である。しかし、これは、憲法の平和原則を著しく侵害するものである。我々国民は、砂川判決を批判し、安保条約の改定を断固として反対する立場を表明する。

憲法の番人は国民

政治的な最高裁判決

憲法の番人は国民である。最高裁判決は、政治的なものである。我々国民は、憲法の平和原則を著しく侵害する改定案を断固として反対する立場を表明する。

憲法の番人は国民である。最高裁判決は、政治的なものである。我々国民は、憲法の平和原則を著しく侵害する改定案を断固として反対する立場を表明する。

大阪金石文

去来路入

大阪金石文の去来路入に関する記事。大阪金石文は、大阪府の歴史を語る重要な資料である。去来路入は、大阪府の発展に大きく貢献した。我々大阪府民は、去来路入の功績を称賛し、大阪府の発展を期す。

親鸞と農民一揆

野田御坊、極楽寺三千一人討死墓

親鸞と農民一揆に関する記事。野田御坊、極楽寺三千一人討死墓は、農民一揆の歴史を語る重要な資料である。我々農民は、親鸞の教えを信じ、農民一揆を断固として支持する立場を表明する。

二十八人討死墓

天文二年八月九日

二十八人討死墓に関する記事。天文二年八月九日は、二十八人討死墓の歴史を語る重要な日である。我々二十八人討死墓の歴史を語り、その功績を称賛する。

投書箱

読者の投書に関する記事。読者の意見や感想を募集し、本紙に掲載する。読者の声は、本紙の発展に大きく貢献する。

ストープに一言

ストープに関する記事。ストープは、日本の伝統的な建築様式である。我々ストープの歴史を語り、その美しさを称賛する。

九条一切の

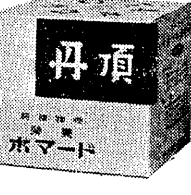
九条一切のに関する記事。九条一切のは、憲法の重要な部分である。我々九条一切のの重要性を認識し、断固として支持する立場を表明する。

軍事行動面

軍事行動面に関する記事。軍事行動面は、国家の安全を脅かすものである。我々軍事行動面の危険性を認識し、断固として反対する立場を表明する。

クシャミ3回... 強力ルル

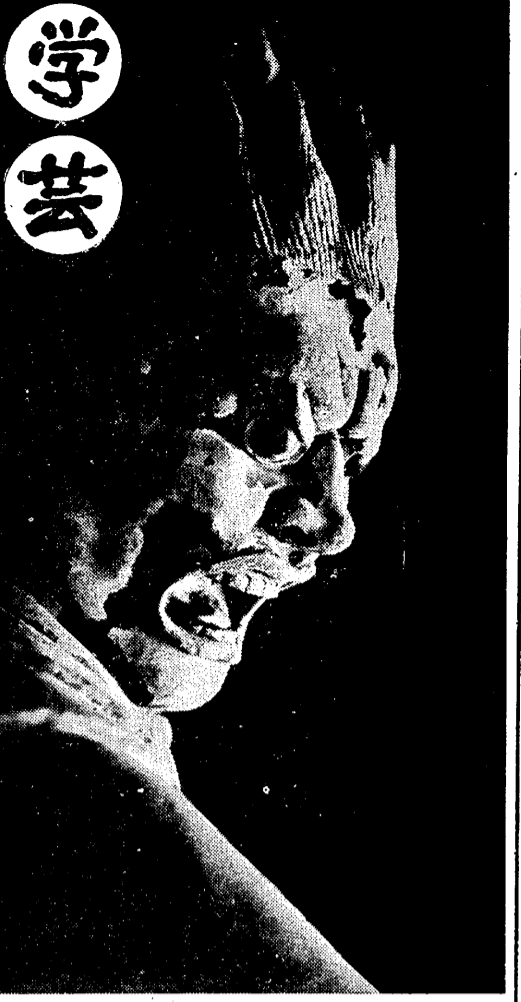
強力ルルに関する記事。強力ルルは、クシャミを治める効果的な薬である。我々強力ルルの効果を体験し、その効果を称賛する。



丹頂ポマード

丹頂ポマードに関する記事。丹頂ポマードは、頭痛や腰痛を治める効果的な薬である。我々丹頂ポマードの効果を体験し、その効果を称賛する。





日本人の思想の歴史をたどると、大抵、その思想の中心は、社会の理想と個人の理想の衝突と、その解決の途を求めたものである。...

「文学の典拠」として、文学者が過去の文学史や批評家から何を学ばなければならないか、という問題が提起されている。

「文学の特質」として、文学が他の芸術形式と異なる点、特に言語の持つ多義性や象徴性について論じている。

「文学の典拠」の続きとして、文学者が過去の文学史や批評家から何を学ばなければならないか、という問題が提起されている。

典型的な形象の創造

文学の客観性について

たかもと かおる

文学の客観性とは、作者の主観を超えて、客観的に存在するものか、という問いかけから始まる。...

「文学の特質」として、文学が他の芸術形式と異なる点、特に言語の持つ多義性や象徴性について論じている。

「文学の典拠」として、文学者が過去の文学史や批評家から何を学ばなければならないか、という問題が提起されている。

「文学の特質」として、文学が他の芸術形式と異なる点、特に言語の持つ多義性や象徴性について論じている。

「時評」欄の冒頭部分。時事評論の導入文。

潮流は変っている

文部部教員 余戸 嘉七

教育の現場で感じている変化。従来の教育観と現在の教育観の対比を論じている。

音楽手帖

音楽に関する情報や楽譜の紹介。クラシック音楽の普及を促している。

アメリカの良心

アメリカの社会状況や政治情勢に関する分析。民主主義の現状を論じている。

外來紙通信

海外の新聞記事の要約。国際情勢に関する最新情報を提供している。

民族英雄の典型

化をはかる作品

評

民族英雄の典型を論じた作品の分析。英雄像の形成過程を考察している。

誤った認識

文学研究における誤った認識の指摘。客観性や典拠に関する論議を続けている。



貴重な火山の記録

「火山の驚異」

火山活動に関する貴重な記録の紹介。自然の偉大さを伝える内容。

サイクリングドライブに... アサヒコーポレーションの自転車に関する広告。新発売の自転車を紹介している。

ポイント ポイント 一ばん大切なのは... 文房具や文具に関する広告。品質とデザインを強調している。

画像が美しい... テレビは サニー 三洋電機株式会社 最新のテレビに関する広告。高品質な映像と音質をアピールしている。